

船橋ケアセンター 広報紙

2023年10月1日発行

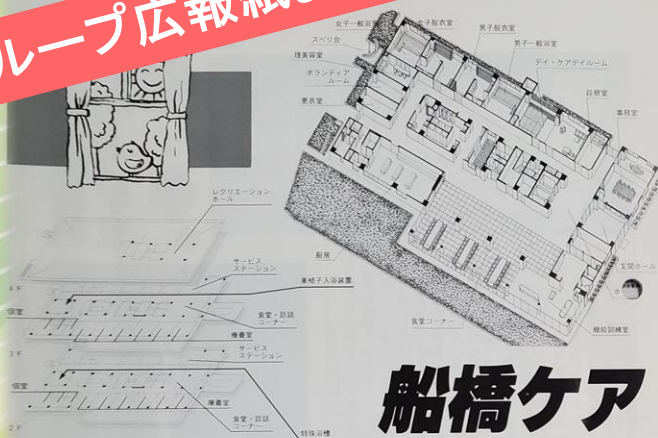
「笑顔」

今週のニュース

船橋ケアセンターは令和5年11月1日で開設30周年となります。ご利用者様、地域の皆様、多くの方に支えられて30周年を迎えることができました。感謝いたします。今回は特別号といたしまして、船橋ケアセンターの歴史をお伝えいたします。



グループ広報紙より



船橋ケア



センター 本年11月1日 よいよ開設!

● 入所条件
病状が安定していて、入院治療をする必要がないが看護・看護補助やハビリテーションなどの医療介助を必要とする方、七十歳以上の方、又は六十五歳以上で老人保健法、医療受給者証をお持ちの方です。当施設の入所判定委員会が審議して決定します。

● 費用について
基本療養費、長期・短期入所、通所、生活に関する費用は、自己負担となります。

● スタッフ紹介
施設長 藤田 全康

事務長 井上 登
看護長 吉田かつよ
看護師 八名
介護士 二名
相談指導員 二名
調理 栄業士 一名
リハビリ 委託 四名
事務員 四名

● 住所
千葉県船橋市高野台
五丁目七四一ノ六
電話 0476-94-9400

● 設立趣旨
我が国は、世界に例のないスピードで急速に高齢化社会に向かっています。高齢化率六五歳以上人口の割合は、二〇二〇年平成三十二年には約十七％に達すると言われていました。特に後期高齢者七十五歳以上人口の割合が増加し、介護を必要とする拡大が見込まれ、介護を必要とする二〇〇万人は、二〇二〇年には、二五〇万人になると予測されています。一方で在宅での介護力が大幅に低下してきており、高齢者に対する介護体制の確保が社会的に急務となっている状況です。その施策の一つとして、老人保健施設が昭和六二年にスタートし、国民の大きな期待を背負っており、当グループもその期待に応えるために、「老人保健施設 船橋ケアセンター」を設立するに至りました。これにより、医療と福祉との連携が推進でき、益々地域社会に密着した医療サービスが提供できるものと考えます。

● 特徴
ケアセンターは、要介護老人のために看護や介護が必要な日常生活が一日も滞りなく自分の家で生活できる様、ゆとりたりの設備の中で医療、看護、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーなどの専門スタッフが介護、入浴、食餌、リハビリを中心とした生活プログラムを作り、家庭的雰囲気の中で、医療と福祉との連携が推進できるものと考えます。

● 介護士の活躍
一九八九年、介護福祉士という専門職種が誕生しました。これには、急速に高齢化が第一にあげられます。現たまりの介護を必要とする老人が増えている現在、世帯規模の減少、扶養意識の低下が大きな問題となっています。このような中で、老人保健施設のような老人の自立を目的とした施設の中で、専門的な知識、技術をもつて、生活上又は、精神上障害があることで、日常生活に支障がある老人に対し、入浴、排泄、食事その他の介護を行い、その介護者に対して、介護に関する指導を行っていくというところで、その活躍が非常に期待されています。

● 戸田中央連絡グループとの連携
当施設は、入所者の病状からみて特に病状が急変した時等、当センターが必要な医療機関の北総白井病院に往診、通院又は、入院させるための普及より北総白井病院とは、連絡を密にしなければなりません。

● 施設概要
（入所定員） 一〇〇名
（入所定員） 三〇〇名
（施設概要）
一階 玄関ホール、リハビリセンター、デイルーム、食堂、一般浴、受入事務室等
二階 療養室、介助指導室、バスルーム、車椅子浴室、サロンのスペース
三階 療養室、車椅子浴室、サロンのスペース
四階 レクリエーションホール

● 送迎用の送迎車
（送迎定員） 一〇〇名
（送迎定員） 三〇〇名
（施設概要）
一階 玄関ホール、リハビリセンター、デイルーム、食堂、一般浴、受入事務室等
二階 療養室、介助指導室、バスルーム、車椅子浴室、サロンのスペース
三階 療養室、車椅子浴室、サロンのスペース
四階 レクリエーションホール

船橋ケアセンターは、平成5年11月1日に入所100床、通所リハ30名/1日にて船橋市に3番目に開設した介護老人保健施設です。平成26年5月に増築し、現在は入所120床、通所リハ50名/1日にて運営をしております。

～開設当初の写真～



～増築から現在の写真～



これからも船橋ケアセンターを
よろしくお願いいたします。